



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東  
コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 膽畑 匡志 TEL 03-6758-4738  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,850	49.1	△1,809	—	△1,800	—	△1,966	—
2023年9月期第2四半期	2,581	18.4	133	154.3	152	166.1	77	418.3

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 △1,966百万円 (—%) 2023年9月期第2四半期 76百万円 (411.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△493.58	—
2023年9月期第2四半期	19.71	19.22

(注) 2024年9月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,964	319	6.2
2023年9月期	5,101	2,258	42.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 183百万円 2023年9月期 2,141百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,420	28.9	△1,745	—	△1,745	—	△1,935	—	△481.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	4,032,100株	2023年9月期	3,987,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	13,505株	2023年9月期	13,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	3,984,080株	2023年9月期2Q	3,917,872株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(企業結合等関係)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アフターコロナの中で社会経済活動の正常化が進み、個人消費やインバウンド消費が活発となり、穏やかな回復基調にあります。一方で、高まる中東情勢の緊迫化を背景とした世界的なインフレ再加速が懸念され、消費活動の鈍化や引き締めの金融政策の長期化、再度の上昇リスクにつながる恐れがあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開を行う2023年の国内インターネット広告市場は、進展する社会のデジタル化を背景に、前年比7.8%増の3兆3,330億円(注1)と推計され、総広告費における「インターネット広告費」は堅調に伸長し、総広告費に占める構成比は45.5%に達しました。また、2023年の国内ソーシャルメディアマーケティング市場は、前年比17.0%増の1兆899億円(注2)と推計されております。

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM(ソーシャルメディアマーケティング)事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR(ヒューマンリソース)事業」を展開してまいりました。

なお、売上債権の取立不能又は取立遅延のおそれが発生したことから、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額2,215百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,850百万円(前年同期比49.1%増)、営業損失1,809百万円(前年同期は営業利益133百万円)、経常損失1,800百万円(前年同期は経常利益152百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,966百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、インフルエンサーサービス及びインターネット広告販売の伸長により増収となり、過去最高売上高を更新いたしました。

以上の結果、SMM事業の売上高は3,629百万円(前年同期比51.2%増)、営業利益は862百万円(前年同期比70.4%増)となりました。

#### ②その他

その他では「HR事業」「ライブ配信プラットフォーム事業」「新規事業開発」を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、ライブ配信プラットフォーム事業の伸長もあり、売上高は220百万円(前年同期比22.4%増)、営業損失は20百万円(前年同期は23百万円の営業損失)となりました。

(注1) 出典：株式会社電通「2023年 日本の広告費」

(注2) 出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ「2022年 国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,086百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,264百万円減少いたしました。これは主に貸倒引当金が2,215百万円増加したことによるものであります。固定資産は878百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。これは主に工具、器具及び備品が105百万円、敷金及び保証金が34百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,136百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円減少いたしました。これは主に買掛金が761百万円減少し、短期借入金が500百万円増加したことによるものであります。固定負債は320百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が54百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は319百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,939百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が1,966百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は6.2%（前連結会計年度末は42.0%）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ556百万円減少し、809百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は858百万円となりました。これは主に、貸倒引当金の増加2,215百万円による増加要因、売上債権の増加514百万円、税金等調整前四半期純損失1,808百万円、仕入債務の減少761百万円による減少要因によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は152百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出61百万円、投資有価証券の取得による支出37百万円、敷金及び保証金の差入による支出35百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は454百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額500百万円、長期借入金の返済による支出54百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月8日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年5月8日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,365,645	809,095
受取手形及び売掛金	2,896,355	3,417,948
貯蔵品	970	922
その他	87,239	74,049
貸倒引当金	—	△2,215,864
流動資産合計	4,350,210	2,086,152
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	59,992	53,860
減価償却累計額	△32,850	△2,333
建物附属設備 (純額)	27,141	51,526
工具、器具及び備品	73,410	153,393
減価償却累計額	△47,461	△21,798
工具、器具及び備品 (純額)	25,948	131,595
有形固定資産合計	53,090	183,122
無形固定資産		
のれん	246,030	215,276
ソフトウェア	29,986	39,693
顧客関連資産	98,455	82,953
その他	66,327	57,998
無形固定資産合計	440,799	395,921
投資その他の資産		
投資有価証券	48,732	76,884
繰延税金資産	38,497	26,042
敷金及び保証金	135,022	169,621
その他	34,839	26,593
投資その他の資産合計	257,091	299,141
固定資産合計	750,981	878,185
資産合計	5,101,192	2,964,337

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,910,754	1,149,377
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
契約負債	31,466	39,358
未払金	92,681	159,659
未払法人税等	118,919	153,644
未払消費税等	90,914	79,824
ポイント引当金	8,380	8,500
その他	98,550	126,222
流動負債合計	2,459,666	2,324,586
固定負債		
長期借入金	330,000	276,000
繰延税金負債	53,054	44,583
固定負債合計	383,054	320,583
負債合計	2,842,720	2,645,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,121	482,571
資本剰余金	478,121	482,571
利益剰余金	1,215,322	△751,157
自己株式	△32,647	△32,739
株主資本合計	2,138,916	181,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,186	1,797
その他の包括利益累計額合計	2,186	1,797
新株予約権	117,368	136,125
純資産合計	2,258,471	319,167
負債純資産合計	5,101,192	2,964,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,581,864	3,850,757
売上原価	1,415,210	2,292,800
売上総利益	1,166,653	1,557,956
販売費及び一般管理費	1,033,548	3,367,306
営業利益又は営業損失(△)	133,105	△1,809,349
営業外収益		
ポイント収入額	2,323	1,477
助成金収入	14,100	8,782
敷金償却戻入益	5,077	—
雑収入	127	182
営業外収益合計	21,629	10,442
営業外費用		
投資事業組合運用損	605	915
支払利息	1,316	1,166
雑損失	0	0
営業外費用合計	1,922	2,081
経常利益又は経常損失(△)	152,812	△1,800,989
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,000
特別損失合計	—	8,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	152,812	△1,808,989
法人税、住民税及び事業税	73,309	153,507
法人税等調整額	2,298	3,983
法人税等合計	75,608	157,490
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77,203	△1,966,480
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	77,203	△1,966,480



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	77,203	△1,966,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△359	△388
その他の包括利益合計	△359	△388
四半期包括利益	76,843	△1,966,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,843	△1,966,869

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	152,812	△1,808,989
減価償却費	41,244	57,548
のれん償却額	38,695	30,753
投資事業組合運用損益(△は益)	605	915
助成金収入	△14,100	△8,782
敷金償却戻入益	△5,077	—
株式報酬費用	17,816	18,757
支払利息	1,316	1,166
投資有価証券評価損益(△は益)	—	8,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	2,215,864
売上債権の増減額(△は増加)	△45,793	△514,993
棚卸資産の増減額(△は増加)	629	48
仕入債務の増減額(△は減少)	19,778	△761,377
未払金の増減額(△は減少)	△10,226	△26,380
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,663	△11,046
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,750	120
契約負債の増減額(△は減少)	6,176	7,892
その他	△9,960	52,081
小計	187,504	△738,421
利息の支払額	△1,316	△1,166
助成金の受取額	4,817	400
法人税等の支払額	△59,282	△119,111
法人税等の還付額	—	△206
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,722	△858,505
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△37,500
有形固定資産の取得による支出	△1,562	△61,083
無形固定資産の取得による支出	△1,980	△19,012
敷金及び保証金の差入による支出	△1,506	△35,255
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△456,341	—
その他	51	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,339	△152,851
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	500,000
長期借入れによる収入	540,000	—
長期借入金の返済による支出	△54,000	△54,000
株式の発行による収入	14,600	8,900
その他	—	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	500,600	454,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170,983	△556,549
現金及び現金同等物の期首残高	1,453,932	1,365,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,624,915	809,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年10月7日に行われた株式会社WithLIVEとの企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

(追加情報)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社が、アフィリエイト広告の代理販売を実施してございました取引先より、財務状況の悪化により売掛金の入金が遅れる旨の通知がありました。その後、売掛金の一部入金があったものの、当該取引先及び連帯保証先からの売掛金残高の入金が無い状態が続いており、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当社は、当該取引先からの売掛金回収の金額と時期に不確実性が存在することから、当該取引先に対する債権金額2,215百万円に対して、全額貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上しております。

なお上記債権については、当該取引先から支払計画の提示を受け交渉を続けると共に、複数関係者から連帯保証を取得しており、法的手続きを含めた様々な手段を用いて回収努力を続けて参ります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業				
売上高					
外部顧客への売上高	2,401,402	180,461	2,581,864	—	2,581,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220	95	315	△315	—
計	2,401,622	180,556	2,582,179	△315	2,581,864
セグメント利益又は損 失(△)	506,312	△23,153	483,159	△350,054	133,105

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、D2C事業、HR事業、ライブ配信プラットフォーム事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△350,054千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に、株式会社WithLIVEの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、その他において、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は前第2四半期連結累計期間において307,538千円であります。なお、当該のれんの金額は企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,629,867	220,890	3,850,757	—	3,850,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,547	2,547	△2,547	—
計	3,629,867	223,437	3,853,304	△2,547	3,850,757
セグメント利益又は損 失(△)	862,805	△20,148	842,657	△2,652,006	△1,809,349

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、ライブ配信プラットフォーム事業、新規事業開発を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,652,006千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。なお、調整額のセグメント利益又は損失(△)には、貸倒引当金繰入額2,215,864千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、貸倒引当金繰入額を2,215百万円計上したことにより、多額の営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が生じていると認識しております。このような状況を解消するため、当社グループの強みであるインフルエンサーを活用したマーケティング手法を中心に、新たな事業開発等に取り組むことにより、企業価値を向上させ継続的に成長を続けていくように努めて参ります。

なお、資金面については、金融機関からの融資継続を含め手元資金は十分確保できており、財務面での安全性は確保できていると考えております。

以上のことから、現時点では当社グループにおいて、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。